

第15回
高橋松之助記念
「朝の読書大賞」
「文字・活字文化推進大賞」

実施要項

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団

高橋松之助記念 「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」 実施要項

■趣旨

文字・活字文化振興法の理念に則り、読書推進と文字・活字文化振興に貢献し、業績を上げられた学校および地方自治体・団体・個人を顕彰します。

この事業は、東京出版販売株式会社（現・株式会社トーハン）元社長・高橋松之助氏と夫人リウ氏の遺産である、株式会社トーハンの株式の配当金をもとに運営され、文字・活字文化の振興に資することを目的とするものです。

■賞

高橋松之助記念「朝の読書大賞」

「朝の読書」とは、学校で毎朝 10 分間、生徒と教師が全員で本を読むという活動です。全国の学校から教育効果が報告されています。この「朝の読書」活動で顕著な実績のあった学校を対象に表彰いたします。

- ・選考対象 「朝の読書」活動で顕著な実績のあった小学校・中学校・高等学校
(特別支援学校を含みます)
- ・授賞数 3 校程度
- ・正賞 賞状およびトロフィー ・副賞 各 30 万円
(ほかに「優秀校」として数校を表彰、賞状と図書カードを贈呈します)

高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」

地方自治体、読書推進団体をはじめ、さまざまなレベルで地域に根ざした読書支援活動が広がっています。読書推進と文字・活字文化の振興に業績のあった地方自治体・団体・個人を対象に表彰いたします。

- ・選考対象 広く文字・活字文化の振興に業績のあった地方自治体・団体・個人など
- ・授賞数 1
- ・正賞 賞状およびトロフィー ・副賞 30 万円

■選考

- ・賞の選考は以下の過程により行います。
 - ① 関係団体、報道機関、地方自治体等による推薦(自薦を含む)
 - ② 当財団内の選考委員会による選考
 - ③ 選考顧問および選考委員による最終選考会
- ・選考顧問(敬称略、50 音順)
 - 阿刀田 高 (作家、文字・活字文化推進機構理事長)
 - 片山 善博 (早稲田大学公共経営大学院教授、元総務大臣)

■表彰式

- ・会場 出版クラブビル
(東京都千代田区神田神保町 1-32)
- ・日時 2022 年 10 月下旬 11 時より予定
※日時は正式に決定し次第、当財団のホームページにてお知らせします。※感染防止策を講じ表彰式を行う予定ですが、状況に応じてオンラインでの開催等に変更する可能性があります。

詳しくは財団HP



高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」歴代受賞者

	朝の読書大賞	文字・活字文化推進大賞
第1回 (平成19年)	葛飾区立上平井小学校(東京都葛飾区) おいらせ町立木ノ下中学校(青森県上北郡) 熊本県立第二高等学校(熊本県熊本市) 特別賞 大塚笑子	茨城県大子町 高岡らっこの会(富山県高岡市)
第2回 (平成20年)	川井村立川井小学校(岩手県下閉伊郡) 石垣市立石垣中学校(沖縄県石垣市) 高知県立安芸中・高等学校(高知県安芸市)	佐賀県伊万里市
第3回 (平成21年)	稚内市立稚内東小学校(北海道稚内市) 千葉県立緑町中学校(千葉県千葉市) 岐阜県立恵那農業高等学校(岐阜県恵那市) 山陽女子中学校・高等学校(岡山県岡山市)	「本の学校」生涯読書をすすめる会(鳥取県米子市)
第4回 (平成22年)	袋井市立袋井北小学校(静岡県袋井市) 大桑村立大桑中学校(長野県木曾郡) 広島市立広島工業高等学校(広島県広島市)	日本で一番子どもたちが本を読むまちをつくる会 (高知県須崎市)
第5回 (平成23年)	富田林市立寺池台小学校(大阪府富田林市) 平戸市立平戸小学校(長崎県平戸市) 青森市立浪打中学校(青森県青森市) 徳島県立板野高等学校(徳島県板野郡板野町)	鹿児島県出水市
第6回 (平成24年)	久山町立久原小学校(福岡県糟屋郡久山町) 伊丹市立東中学校(兵庫県伊丹市) 文化学園大学杉並中学・高等学校(東京都杉並区)	福島県大熊町教育委員会(福島県双葉郡大熊町)
第7回 (平成25年)	見附市立田井小学校(新潟県見附市) 笛吹市立浅川中学校(山梨県笛吹市) 石川県立小松商業高等学校(石川県小松市)	三省堂書店を応援し隊(北海道留萌市)
第8回 (平成26年)	茅野市立永明小学校(長野県茅野市) 柴田町立船岡中学校(宮城県柴田郡柴田町) 福井県立金津高等学校(福井県あわら市)	NPO法人 時をつむぐ会(群馬県高崎市)
第9回 (平成27年)	米子市立福米東小学校(鳥取県米子市) 清教学園中・高等学校(大阪府河内長野市) 香川県立高松東高等学校(香川県高松市)	幕別町図書館(北海道中川郡幕別町)
第10回 (平成28年)	七尾市立天神山小学校(石川県七尾市) 横手市立横手南中学校(秋田県横手市) 富山県立富山いずみ高等学校(富山県富山市)	K-mix 静岡エフエム放送(静岡県浜松市) 特別賞 ピブリオバトル (普及委員会本部:滋賀県草津市)
第11回 (平成29年)	霧島市立青葉小学校(鹿児島県霧島市) 白山市立松任中学校(石川県白山市) 千葉県立八千代西高等学校(千葉県八千代市)	青森県八戸市「本のまち八戸」
第12回 (平成30年)	ひたちなか市立那珂湊第一小学校(茨城県ひたちなか市) 玖珠町立玖珠中学校(大分県玖珠郡玖珠町) 京都府立久美浜高等学校(京都府京丹後市)	絵本のまち有田川(和歌山県有田郡有田川町)
第13回 (令和元年)	南越前町立南条小学校(福井県南条郡南越前町) 樹徳高等学校・樹徳中学校(群馬県桐生市) 出水市立出水商業高等学校(鹿児島県出水市) 岐阜県立東濃特別支援学校(岐阜県土岐市)	やまなし読書活動促進事業実行委員会(山梨県)
第14回 (令和3年)	中津市立下郷小学校(大分県中津市) 学校法人創価学園 関西創価中学校(大阪府交野市) 愛知県立豊田高等学校(愛知県豊田市)	岡山放送株式会社 アナウンス室



高橋松之助・リウ夫妻

高橋松之助氏は 1908(明治 41)年東京生まれ。三和銀行(現・三菱 UFJ 銀行)に入行、東京出版販売(現・トーハン)の設立準備に携わった後、1949(昭和 24)年東販入社、1977(昭和 52)年 6 月に第 4 代社長に就任したが、翌月急逝した。夫人リウ氏は、東販経営に全身全霊を傾けていた夫の思いを汲み、遺産であるトーハン株式を社会に役立ててほしいと遺言を残した。この株式が、財団の基金となり、今日の賞の運営を支えている。

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団

公益財団法人高橋松之助記念顕彰財団は、高橋松之助氏とその夫人リウ氏の遺志を体して、読書推進と文字・活字文化の振興に成果を上げた学校および地方自治体・団体・個人を顕彰する事業を通じて、児童生徒の読書習慣定着と、文字・活字文化の発展向上に寄与することを目的としています。

この目的を達成するため、高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」を実施しています。

〈高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」のあゆみ〉

本賞二つは、平成 19 年「文字・活字文化振興法」の具現化をめざして、社団法人全国出版協会(現在は公益社団法人)の文字・活字文化振興に関する顕彰事業として創設されました。以来、着実に回を重ね、平成 25 年 8 月 1 日に一般財団法人高橋松之助記念顕彰財団が設立されるに伴い、顕彰事業は当財団に移譲され、現在に至っています。なお、当財団は平成 26 年 3 月に公益財団法人に認定されました。

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団

設立年月日:平成 25 年 8 月 1 日

理事長:浅野純次(元株式会社東洋経済新報社代表取締役社長)

ホームページ <http://www.takahashi-award.jp/>

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24

TEL 03-5225-9711 FAX 03-3266-1855